

第5学年 体育科学習指導案

日 時：平成19年10月23日（火）

5校時（13:40～14:25）

場 所：三鷹市立中原小学校 体育館

学 級：第5学年2組 35名

担 任：市野 菜穂子

指導者：荒西 岳 広

1 単元名 ボール運動「バスケットボール」

2 運動の特性

- ボールを扱いながら作戦を工夫して、集団対集団で得点を競い合うことを楽しむ運動である。
- 常に仲間を意識して活動し、様々なチームへの貢献の仕方を達成することによって、チームへの所属意識を高めることができる運動である。
- 児童相互のかかわり合い、ルールやマナーを守ることなどから、社会的態度をはぐくむことができる運動である。
- チームのめあて達成に向けて、作戦を工夫したり、練習を選択したりするなど、児童が主体的に学習を進めることができる運動である。
- 様々な自己実現ができ、生涯スポーツにつながりやすい運動である。

3 単元のねらい

- 状況に応じたパスやドリブル、シュートをして攻撃したり、相手の攻撃を阻止するための防御の仕方を身に付けたりして、ゲームを楽しめるようにする。
- 互いのよさを認め合い、チームの力を高めるための自分の課題や活動の仕方を理解し、取り組む。
- 自分のチームの特徴を生かした作戦を立て、工夫して練習・ゲームに取り組み、一人一人がチームの力の高め方を学んでいくようにする。

4 児童の実態

(1) 日常の様子から

ボール運動領域の学習のみを荒西が指導している借り学級である。生活指導上の課題を抱える児童が多いが、担任の力もあり、集団として機能するようになっている。一部のカッとなりやすい児童を除いて、運動が苦手な児童に対しあたたかい目で見えあげられる児童が多い。このような学級の土壌から、ソフトバレーボールでは、運動が苦手な児童も前向きに取り組むことができた。男女の仲も良好で、みんなの力を合わせてチームの力を高めようとしている。

(2) 体育学習・ボール運動に関する意識調査から

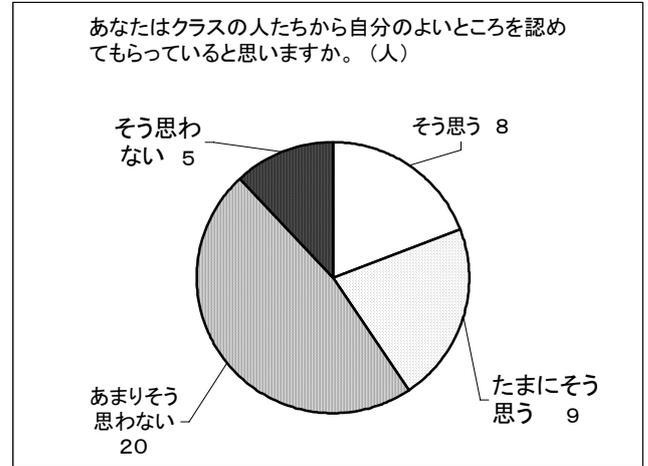
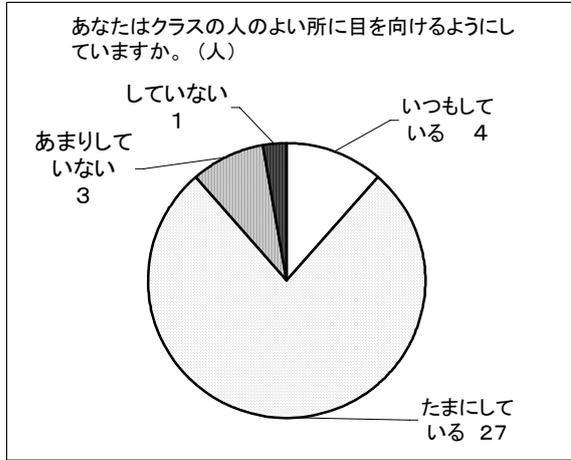
調査日：ボール運動授業前 平成19年9月3日（月）

回答数：35名

① よさに対する意識

設問1 あなたはクラスの人たちのよい所に目を向けるようにしていますか。

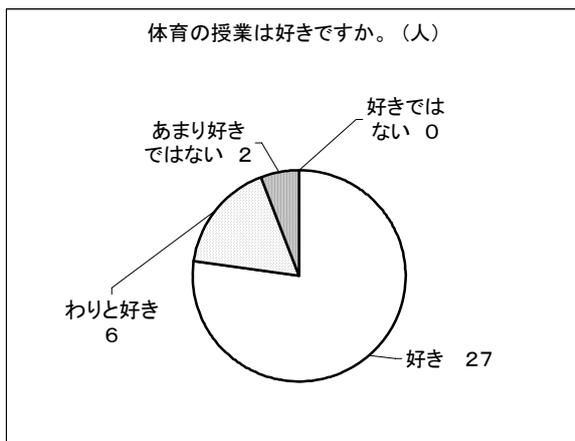
設問2 あなたはクラスの人たちから自分のよい所を認めてもらっていると思いますか。



よさについては、「自分は、クラスの人達のよさに目を向けているが、自分のよさは認めてもらっていない。」という児童が多い。学習が苦手な児童に対する声かけがあたたかいものであったり、比較的、男女で取り組むことに抵抗がないなどクラスの雰囲気も悪くはない実態から考えると、本当はまわりからよさを認めてもらっているのだが、それが本人にしっかり伝わっていない現状があると考えられる。ボール運動の学習において、よさの認め合いを行うことは、本クラスにとって有意義な活動になると考えられる。

② 体育の授業に対する意識

設問3 体育の授業が好きですか。



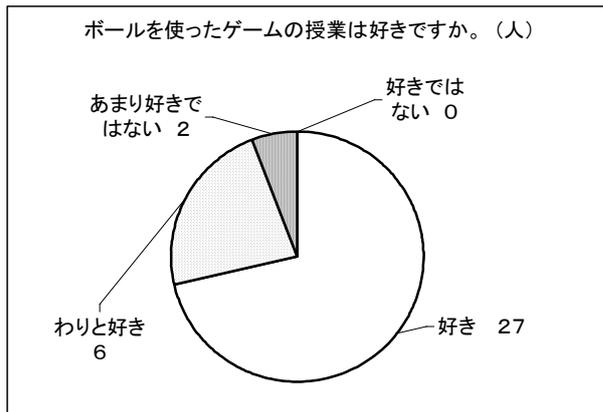
〈好きな理由〉(人)

体を動かすのが好きだから (17)
 みんなで学べるから (3)
 書いたり読んだりしなくてよい (2) など

ほとんどの児童が体育が好きであることがわかる。その主な理由を見てみても、体を動かすこと自体が好きで児童が半数近くを占めている。「あまり好きではない」と答えた2名の児童を重点的に指導しながら、児童の意欲を持続させるように努めたい。

③ ゲームの授業に対する意識

設問4 ボールを使ったゲームの授業は好きですか。



〈好きな理由〉(人)

- 好きな種目があるから (8)
- 投げたりけったりが楽しいから (5)
- ボールを使うのが楽しいから (3)
- 運動が好きだから (3)
- ゴールに入れるのが楽しいから (2)
- みんなで協力できるから (2) など

若干の差はあるものの、ほとんど設問3と同じ傾向である。体育の授業が好きな児童はボールを使ったゲームも好きであることがわかる。理由を見てみると、「好きなゲームの内容がある」「投げたり、けったりするのが楽しい」など個人的な理由が多い。「みんなで協力できる」など、チームで活動するボール運動の特性に触れている児童は少ないことから、導入段階から、チームの力を高める喜びを味わわせていくことを意識した指導が必要であると考えられる。

④ ゲームの学習についての意識

設問5 ボールを使ったゲームの学習を進めていく上で大切なことはどんなことですか。3つまで(人)

| | |
|-------------------------|----------------------|
| チームワークをよくする (1 6) | 先生の言うことをきく (4) |
| 声をかけあう (1 3) | チームの強さのバランスをよくする (3) |
| みんなにパスをまわす・みんなでやる (1 2) | 作戦をしっかりたてる (2) |
| 協力する (9) | など |
| 楽しくやること (4) | |

作戦やめあてなどの方法知に関する記述は少ないが、「チームワークをよくする」「声をかけあう」など人間知に関する記述が多くなっている。ゲーム領域での学習の結果、「まとまりが大事」という意識ができる児童が育っていることがわかる。これを基盤に、チームの力を高める活動に力を入れていきたい。

⑤ チームワークについての意識

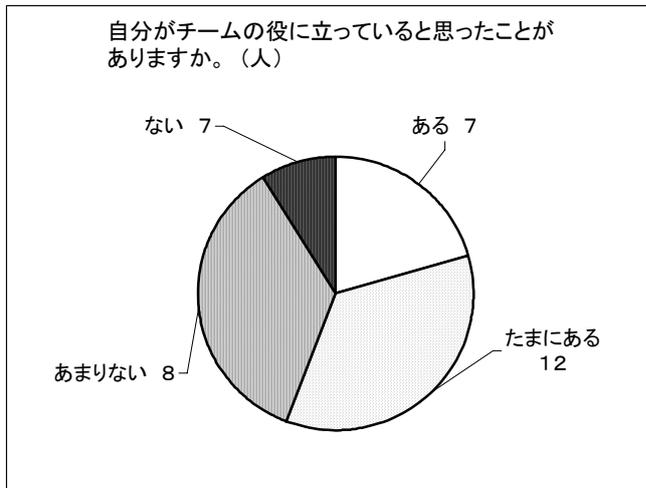
設問6 「チームワークがよい」とはどういうことだと思いますか。自由記述(人)

| | |
|--------------------|----------------------|
| みんなが一つになっていること (6) | 仲がよいこと (3) |
| 協力すること (6) | 声を出し合うこと (3) |
| はげましていること (6) | みんなにボールをまわすこと (2) など |

ゲームの学習において、大切なことは「チームワークをよくする」ことだと感じている児童が多い本学級であるが、具体的に児童は「チームワーク」をどのように捉えているのか調査した。「みんなが一つになっている」「協力すること」「はげましている」など、人間知に関する記述がほとんどである。このような実態を踏まえ、児童のイメージするチームワーク像を尊重しながら、人間知中心のチームづくりを推進し、それを基盤として、方法知や内容知に関する内容も含めた「チームの力」を高める学習につなげていきたい。

⑥ チームへの貢献についての意識

設問7 ポールを使ったゲームの学習で、自分がチームの役に立っていると思ったことがありますか。



〈「役に立った」と思ったとき〉(人)

得点したとき (13)
パスしたとき (7)
声を出したとき (6)
ディフェンスをしたとき (5)
アシストしたとき (2)
作戦を考えたとき (2)

ゲームの学習において、15名の児童が、チームの役に立っていると思ったことが「ない」、「あまりない」と回答している。児童の意識の中に多い「得点」や「パス」などの、内容知に関する貢献の他に、方法知や人間知に関する貢献の仕方についても伝え、一人一人がチームに貢献できたと実感できる学習になるようにしていきたい。

意識調査から見える授業の方向性

ゲーム領域において「声」の大切さを学んできた児童が多く、よさの認め合いを含めた人間知を中心とした学習からスタートさせることがチームづくりの第一歩としてふさわしいと考える。その上で、まだ身につけていない方法知に関するチームづくりを新たにできるようにしていくことで、チームの力をさらに高めていくようにする。体育科の学習が好きな児童が多いクラスの実態を生かし、個性やよさを認めながら、チームの力を高める喜びも味わわせるようにしていきたい。

5 評価計画（評価規準と具体的な評価方法）

| 評価規準 | | 具体的な児童の姿 | | 評価方法と場面 | |
|-------------|--|--|--|-----------------------|------------------------------|
| | | 知る段階（1～2） | 高める段階（3～7） | 評価方法 | 評価場面 |
| 技 能 | ○パス、ドリブル、シュートなどの技能を身に付け、作戦や状況に応じてゲームを行うことができる。 | ○基本的なボール操作（パス、ドリブル、シュート）ができる。 ○教師や友達の助言を意識して運動することができる。 | ○状況や作戦に応じた動き（パス、ドリブル、シュート）をすることができる。 | 観察 学習カード | チームの時間中 ゲーム中 |
| | ○ルールを理解して審判としてゲームを進めることができる。 | ○基本的なゲームのルールを正しく理解することができる。 | ○審判として正確な判定に努め、毅然とした態度で安全かつスムーズにゲームを進行することができる。 | 観察 | ゲーム中 |
| 態 度 | ○規則を守り、互いに役割を分担して、安全に注意しながら練習やゲームをしようとしている。 | ○友達のよさを見つけようとしている。 | ○「ドンマイ」などの励ましの声や「ナイス」などのよさを認める声をかけようとしている。 | 観察 学習カード | ゲーム中 チームの時間中 作戦タイム中 |
| | ○勝敗を素直に認め、友達と励まし合ってゲームをしようとしている。 | ○学習の仕方や意義についてしっかり理解しようとしている。 | ○チームのめあてを意識しながら進んで協力しようとしている。 | 観察 学習カード | ゲーム中 チームの時間中 |
| | | ○審判の判定や勝敗を素直に認めようとしている。 ○ルールを理解し、ゲームの勝敗に関心をもとうとしている。 | ○判定に従いながら公正かつ冷静な判断で、互いが全力を尽くし、スムーズにゲームが展開できるようにしている。 | 観察 | ゲーム中 |
| 学 び 方 | ○チームの力を高めるためのめあてをもち、課題解決をしている。 | ○記録カードのつけ方や、評価活動の仕方を理解している。 | ○チームのめあてを受けて自分のめあてをもち、他者評価や記録をもとに振り返っている。 | 観察 チームカード 学習カード | チームの時間中 振り返りの時間 作戦タイム中 |
| | ○チームの課題に応じて、計画的に練習やゲームをしている。 | ○チームの時間の例示について、何のための練習か理解している。 | ○自分たちに必要な練習を選択し、そこでの練習をゲームで生かしている。 | 観察 チームカード | ゲーム中 チームの時間中 振り返りの時間 |

| 段階 時 | 学び方・チームの力を知る段階 | | チームの力を高める段階 | | | | |
|--|--|---|---|--|-----|-----|-----|
| | 第1時 | 第2時 | 第3時 | 第4時 | 第5時 | 第6時 | 第7時 |
| 学習内容・活動 | <p>学習の進め方やルールを知るとともに、チームや友達によさに気づく。</p> | | <p>チームを構成する一人一人が「チームの力」としての力を発揮できるように、課題をもち、その解決に向けて活動し、自分やチームの状況を自己評価しながらチームの力を高めていく。</p> | | | | |
| | <p>①用具の準備をする ②本時の学習内容を知る。 ③準備運動をする。</p> | | <p>①用具の準備をする ②本時の学習内容を知る。 ③準備運動をする。</p> | | | | |
| | <p>④安全なボールの扱い方を理解する。 ⑤練習カードの例示の内容を理解する。実際にやってみながらボールに慣れる。 ⑥試しのゲームをする。 ・ルールを知る。 ・審判の仕方を知る。</p>  | <p>④パワーアップタイム(チームの時間)を行う。 ⑤ゲームを行う。(リーグ戦) ・記録カードのつけ方を理解し、一つの試合の記録を他の全員でつける。 ・3ピリオドの流れを知る。 ・ルールの確認をする。 ・チームや友達によさ見付けをする。</p> | <p>④パワーアップタイムの活動、ゲーム(リーグ戦)及び審判に取り組む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>パワーアップタイム(6分)</p> <p>第1ピリオド(2分) 作戦タイム(1分)</p> <p>第2ピリオド(2分) 作戦タイム(1分)</p> <p>第3ピリオド(2分) 作戦タイム(1分)</p> <p>第1ピリオド(2分) 作戦タイム(1分)</p> <p>第2ピリオド(2分) 作戦タイム(1分)</p> <p>第3ピリオド(2分) 作戦タイム(1分)</p> <p>第1ピリオド(2分) 作戦タイム(1分)</p> <p>第2ピリオド(2分) 作戦タイム(1分)</p> <p>第3ピリオド(2分) 作戦タイム(1分)</p> </div> | <p>④パワーアップタイムの活動、ゲーム(対抗戦)及び審判に取り組む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>第1ピリオド(2分) 作戦タイム(1分)</p> <p>第2ピリオド(2分) 作戦タイム(1分)</p> <p>第3ピリオド(2分) 作戦タイム(1分)</p> <p>ゲーム①</p> <p>パワーアップタイム(6分)</p> <p>第1ピリオド(2分) 作戦タイム(1分)</p> <p>第2ピリオド(2分) 作戦タイム(1分)</p> <p>第3ピリオド(2分) 作戦タイム(1分)</p> <p>ゲーム②</p> <p>第1ピリオド(2分) 作戦タイム(1分)</p> <p>第2ピリオド(2分) 作戦タイム(1分)</p> <p>第3ピリオド(2分) 作戦タイム(1分)</p> <p>ゲーム③</p> </div> | | | |
| <p>⑦整理運動をする。 ⑧チームや友達によさについて話し合う。 ⑨学習のまとめをする。 ⑩用具の片づけをする。</p> | <p>⑥整理運動をする。 ⑦学習の振り返りをする。 ⑨学習のまとめをする。 ⑩用具の片づけをする。</p> | <p>⑤整理運動をする。 ⑥学習の振り返りをする。 ⑦学習のまとめをする。 ⑧用具の片づけをする。</p>  | | | | | |
| 教師の支援 | <p>○みんなが安全に楽しく学習できるようにすることを強調した上でルールを伝える。</p> <p>○パスを出す、パスをもらう際は必ず声をかけるようにさせる。</p> <p>○審判に毅然とした態度で自信をもってジャッジができるように、ゲーム中に声をかけて支援する。</p> | | <p>○事前に個人のめあてを確認し、チームのめあてとの整合性をもたせるようにする。</p> <p>○チームの課題や作戦に合わせたパワーアップタイムになるようにアドバイスする。</p> <p>○前時の振り返りから、重点的に支援する児童を選んでおき、「タイプ別支援」をもとに計画的に支援する。</p> <p>○勝つことができるチームには、よい勝ち方を意識させる。全員が活躍できるようにリーダーに働きかける。</p> <p>○活動のよさを見取り、振り返りの時間にフィードバックする。</p> <p>○困難な課題を解決した例を全体で発表させ、チームの力の高め方として共有できるようにする。</p> | | | | |
| | <p>○ボールに固まっただけでパスが続かない場合、ストップモーションで教師がパスがもらえる位置への移動を示範しながらゲームを進める。</p> <p>○同じ人ばかりが得点するなどの様相が見られる場合、全員が活躍できるように特別ルールを提案する。</p> | | | | | | |

本時

学習内容・活動

教師の支援

7 本時案(6/7)

(1) 本時のねらい

【技能】 状況や作戦に応じて、パス、ドリブル、シュートなどの技能を生かしてゲームをすることができる。

【態度】 チームのめあてを意識しながら進んで協力しようとしている。

【学び方】 チームの力を高めるためのめあて・作戦をもち、他者評価や記録をもとに振り返っている。

(2) 本時の展開

| 主な学習内容・活動 | 教師の支援(○) 評価(☆) 評価方法【 】 |
|--|---|
| <p>1 用具の準備をする。</p> <p>2 集合整列し、本時の学習内容やめあてを確かめる。</p> <p>○今日のめあての確認する。</p> <p>○ピンポイント評価の対象となる児童のめあての確認する。</p> <p>3 準備運動をする。</p> <p>○手首、足首を念入りに動かす。</p> <p>○タップ・ハンドリング・ドリブル・ナンバリングパスを行う。</p> <p>4 チームごとにパワーアップタイムとゲーム、審判に取り組む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>第1ピリオド(2分) ゲーム① 作戦タイム(1分) 第2ピリオド(2分) 作戦タイム(1分) 第3ピリオド(2分)</p> <p>パワーアップタイム(6分)</p> <p>第1ピリオド(2分) ゲーム② 作戦タイム(1分) 第2ピリオド(2分) 作戦タイム(1分) 第3ピリオド(2分)</p> <p>第1ピリオド(2分) ゲーム③ 作戦タイム(1分) 第2ピリオド(2分) 作戦タイム(1分) 第3ピリオド(2分)</p> </div> <p>5 整理運動をする。</p> <p>○ストレッチを行う。</p> <p>6 学習の振り返りをする。</p> <p>○チーム評価・ピンポイント評価・自己評価を行う。</p> <p>7 学習のまとめをする。</p> <p>○チームの力を高めた活動を紹介する。</p> <p>8 用具の片づけをする。</p> | <p>児童がチームの力の高めることを意識して活動するために</p> <p>○前の時間でチームの力を高めたと考えられる児童の振り返りを伝える。</p> <p>児童がチームに貢献したという実感を味わうために</p> <p>○めあてに応じた動きやプレーができたり、チームのためになる声かけができたりしている場合、積極的にそれを認めていくとともに、児童相互に認め合いができるように働きかけていく。</p> <p>○パワーアップタイムで課題解決のための活動が有効なものになるよう示範も交えて支援する。</p> <p>○記録係のアドバイスに付け加えをし、チームに貢献できていることを客観的に実感させる。</p> <p>☆状況や作戦に応じた動き(パス、ドリブル、シュート)ができているか。【観察】</p> <p>☆チームのめあてを意識しながら進んで協力しようとしているか。【観察】</p> <p>重点支援チーム・児童について</p> <p>○停滞気味のチーム2チームを重点的に支援する。その中でも、貢献の実感が味わえていない児童を4名選び、積極的に支援していく。</p> <p>児童がチームの力を高めていくために</p> <p>○他者評価とともに記録カードも評価の参考とし、貢献の実感を味わわせていく。</p> <p>○チーム評価などから、チームの新たな課題を浮き彫りにし、次の活動へとつなげていく。</p> <p>○困難な課題を解決した例を全体で発表させ、チームの力の高め方として共有できるようにする。</p> <p>☆他者評価や記録をもとに振り返りをしているか。</p> <p style="text-align: right;">【観察・学習カード】</p> |